

平成25年度 第9回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成26年1月14日(火) 10時30分～12時02分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，川上監事，宮脇文化教育学部副学部長(学部長代理)，平地経済学部長，藤本医学部長，渡邊農学部長，諸泉全学教育機構副機構長，稲岡附属図書館長，遠藤教養教育運営機構長，事務局長

欠席者 福本文化教育学部長，吉田総合分析実験センター長

陪席者 大島学長補佐

○ 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 検討事項 】

(1) 共同研究・受託研究に係る受入審査の弾力化等について

研究協力課長から，本件について，本学における共同研究及び受託研究の受入手続きの更なる迅速化を図るため，これまで規程にて，学長から部局長に委任し教授会等の議を経て決定をしていた受入決定権限を，受入審査機能を部局長に一任することとし，さらに弾力的，機動的に運用できるよう整備することについて，その趣旨，効果及び取扱規程の改正案等の説明があった。

構成員から，部局長の決定で行うにしても，原則としては教授会に替わる別の組織体でもよいので，事前に何らかの審査をする必要はあるのではないか等の意見があった。また，学長から，部局長が判断出来るようにチェックリストを作成してほしい旨の依頼があり，今後，それらの意見を踏まえ，総合研究戦略会議等で検討をすすめることとなった。

【 報告・連絡事項 】

(1) 学長招待講演会について

総務課長から，本件は，平成24年6月27日開催の役員会において，学長招待講演会実施要項を審議・了承済のものであり，今回，第2回目と

なる講演会を平成26年1月29日（水）14時40分から、教養教育大講義室にて、国立大学法人東京藝術大学長である宮田亮平先生を招待して実施を予定しているものである旨、また、講演開催については、本学教職員や学生をはじめ、大学コンソーシアム佐賀関係者、産学官包括連携協定機関、本庄地区自治会へも案内をすることとしており、併せて参加の依頼があった。

(2) 美術館設置事業の募金状況等について

総務課長から、1月10日現在の美術館設置事業の募金状況について、教職員、個人・学外、法人・団体など寄附者の内訳、金額及び募金率等の報告があった。また、今後の企画展の案内及び今後も各部局等において寄付金について協力いただきたい旨の依頼があった。

(3) 大学改革実行プランの対応について

企画評価課副課長から、本学における大学改革実行プランの対応及び関連事項について、これまでの経緯及び今後の予定について報告があった。

学長から、ミッションの再定義等が徐々に進んできたところであり、組織再編はこれらを踏まえてやっていきたい旨の発言があった。

(4) 平成25年度第11回及び第12回拡大役員懇談会における議論の概要について

学長から、本件について、12月4日及び12月18日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

(5) 「佐賀大学財務レポート2013」について

財務課長から、本件について、平成24事業年度の財務諸表及び事業報告書等に基づき、本学の財務状況や事業活動をステークホルダー毎に分かりやすく説明することにより、広く国民の皆様に、より関心や理解を深めていただくことを目的に本レポートを作成した旨と今回の作成方針及び本学ホームページによる公開方法等財務レポートの作成概要について説明があった。

(6) 平成26年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額（政府案）等の概要について

財務課長から、本件について、昨年度比10億48百万円（10.4%）の増で、111億44百万円の予定額である旨及び主な増減要因、国立大学改革強化推進補助金及び国立大学改革基盤強化促進費等の説明、また、運営費交付金対象事業のうち特別経費分の採択状況等について報告があった。

次いで、企画管理課長から、平成26年度国立大学法人等施設整備費予

算額が549億85百万円であることやその内容及び予定事業数、さらに本学分の採択事業について説明があった。

また、本件は、国会提出後に決定されるものであるため、取扱注意との補足説明があった。

(7) 国立大学法人佐賀大学の予算の繰越及び目的積立金の取扱いについて

財務課長から、本件について、予算の計画的な執行を促し、予算の有効活用を図るとともに、目的積立金の計画的な執行と有効活用を図ることを目的とするものであり、文部科学大臣への承認申請前に予算の繰越の妥当性を判断して繰越の可否を決定する取扱いに改めることや部局の事業計画については、役員会等の議を経て学長が決定することとし、併せてその事業計画を変更する場合も同様な手続きを経て決定するしくみを新たに定めること等について説明があった。

(8) 経費削減状況の報告について

財務課長から、本件について、平成25年度年度計画を達成するために、各部局において、経費削減計画に定めた目標削減率の達成に向けた取組みを実施していただいているところであるが、昨年度の平成24年10月までと平成25年10月までの実績について、その増減についてまとめたものであり、削減計画の実施にあたり参考にしていただきたいこと、また、前回の意見を踏まえ、医学部と附属病院を分けて取り扱うこととした旨の説明があった。

(9) 平成25年度就職内定状況について（12月1日現在）

就職支援課長から、本件について、昨年度と同時期での比較説明があり、学部で4.1ポイント減、大学院で11.2ポイント減、総計で5.8ポイント減となっており、内定率が下がった要因は、進路把握により就職希望者が昨年より増加し、未内定者も増加したためであるが、内定者数については大幅に増加していること、また、就職内定状況の区分欄「その他・不明」の内容等について説明があった。

(10) コミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーション・プロジェクトFD・SDフォーラムの開催について

産学・地域連携機構地域連携部門長の五十嵐教授から、本件について、文部科学省「地（地）の拠点整備事業—コミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーション・プロジェクト—」の採択により、西九州大学との共同で実施するフォーラムであること、その趣旨、内容及び平成26年1月31日（金）にマリトピアにて開催することについて案内があり、併せて関係各位への参加依頼があった。

- (11) その他
特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

- 学務部長から、1月11日に発生した楠葉寮の火災について、原因、学生の安否及び転居状況等について報告があった。

【 その他 】

- 休講調について

教務課長から、休講一覧及び代替措置実施報告一覧を基に、本学の休講状況等について報告があった。

また、学長から、休講は一部の教員にみられることではあるが、学生への教育の質保証等のためにも、安易に行うべきでなく、今後、状況を精査し改善がなされない場合には、予算へ反映することもやむを得ない等の発言があった。

以 上